

# 下郷町民会議だより

News from  
townsman meeting

2016.10.15 No.146

●編集・発行  
下郷町青少年育成町民会議  
(町教育委員会事務局内)

〒 969-5345  
福島県南会津郡下郷町

大字塩生字大石 1000

TEL.0241-69-1168 FAX.0241-69-1167

下郷町青少年育成町民会議だより

青少年の主張発表、青少年健全育成作品コンクール、夏休み子ども教室

## 第32回 下郷町青少年の主張発表者

【小学生の部】

No.	氏名	学校名	学年	題名
1	阿久津 陽菜	橋原	5年	いじめについて考える
2	松田 慧桜	旭田	5年	健康で心豊かに過ごすためには
3	芳賀 美咲	江川	5年	友達に感謝
4	白川 順姫	橋原	6年	私を変えてくれたピアノ
5	湯田 大誠	旭田	6年	魔法の言葉
6	星 奈緒	江川	6年	ものの大切さ

【中学生の部】

No.	氏名	学校名	学年	題名
1	鈴木 理子	下郷中	1年	使こうちみようえ お国ことば
2	白石 滯莉	下郷中	1年	僕のお父さん
3	佐藤 愛音	下郷中	2年	噂
4	星 恵摩	下郷中	2年	躰と虐待の差について考えたこと
5	五十嵐 瑠奈	下郷中	3年	4・14
6	児山 楓芽	下郷中	3年	生きていた証を残す



6月24日(金) 下郷ふれあいセンターにおいて、第32回下郷町青少年の主張発表及び青少年健全育成作品コンクール表彰式が開催されました。町内小学校4年生以上の児童及び中学生約280名が参加しました。各学校の代表12名が、主張発表を行いました。自分の考えを文章にし、それを他の誰かに伝えること、また、伝えることの難しさや楽しさを知ることが出来たのではないのでしょうか。本当にすばらしく堂々と発表する姿に感心させられました。

また、青少年健全育成作品コンクール(ポスターの部・標語の部)においても、どれも素晴らしい作品で審査も困難を極めました。入賞作品については6頁に掲載しています。また、標語・ポスターの最優秀作品4点はポスターにして公共施設や各地区集会所等に配布しておりますので、ぜひご覧ください。主張発表終了後、入賞者全員に賞状と盾が授与されました。※今号2頁から中学生、次号にて小学生の主張発表内容を掲載いたします。

## 町青少年の主張発表・ 青少年健全育成作品コンクール表彰式

7月に開催予定となっていた青少年健全育成世代間交流グラウンド・ゴルフ大会は、町内小学校においてマイコプラズマ肺炎流行のため中止となりました。

## 【共催事業】夏休みWAKUWAKU

子ども教室を開催しました!

8月4日(木)下郷ふれあいセンターにおいて、下郷町放課後子ども教室(下郷町教育委員会)主催、【下郷町青少年育成町民会議 共催事業】夏休みWAKUWAKU子ども教室が開催されました。午前中は曹洞宗松庵寺神田隆宏住職による説法・坐禅・般若心経体験、お昼は流しそうめんにすいか割り、午後は「科学であそぼう」ということで身の回りにある様々な科学について遊びを通して学ぶことが出来ました。夏休みの楽しい思い出が1つ増えたことと思います。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



## 下郷ふるさと祭り宵夜祭における巡回補導

7月30日(土)に大川ふるさと公園で開催されたふるさと祭り宵夜祭において、町民会議補導部会事業の一環として、南会津警察署や少年補導員の方々と合同で、会場内外の巡回補導を実施しました。

## 町青少年の主張発表 中学生の部

使こうちみようえ  
お国ことば下郷中1年  
鈴木 理子

「うちん名前は鈴木理子ちゅうんや。分かりにきいかもしれんけど、これは、大分弁や。うちのおかんの出身地ん方言なんや。みんなに、方言ちいいなあちゅうのを伝えてえけん、ちつと聞いちくれんかえ。」

わたしの名前は鈴木理子といいます。分かりにくいかもしれませんが、これは大分弁です。わたしの母の出身地の方言なのです。みんなに、方言はいいなあということ伝えてたいので、少し聞いてもらえませんか。

わたしは、かやぶき屋根の民家が立ち並ぶ大内宿に住んでいます。豊かな緑と美しい水が自慢の宿場町です。大内宿には、楽しい会津弁を話す名物女将がいます。おばやの話が聞きたくて、人々が集まります。その魅力のひとつが温かい会津弁にあります。

母も、大内宿で店を営んでいます。大分県別府市出身で、下郷町に住んで十四年目になります。十年以上経っても大分弁のまま、会津の土産物や郷土雑貨を販売しています。一見おかしな印象ですが、母らしくていいと思います。

去年の夏休みのことです。母が仕事をする縁側の隣の座敷で宿題をしています。

僕の父は単身赴任で栃木にいます。

父は、平日、家にいません。他の家の父親は平日も家にいるので、ある日、弟が質問したそうです。

「他の家のパパは仕事してないの？いつも家にいるでしょ？」

小さかった弟には「仕事だから家にいない」と言った意味が、まだ、理解できなかったのです。

た。そこに来た観光のお客様が、母の話し言葉に気付いて「大分の人？」と話しかけてこられました。高齢のおばあさんでした。その方のお話は、東京で知り合った旦那様と結婚して以来、仙台に住んでいて、若い頃に一度里帰りのみ。今は両親もご兄弟もなくされて、もう一生大分弁で話すことにはないと思っていたそうです。思いがけず大分弁で話ができ嬉しかったというものでした。初対面の方でしたが、涙ながらに母の手を取って懐かしみ、母ももらい泣きをしていました。もし、母が共通語で話しかけていたなら、なかつた出会いです。わたしにとって、方言の強さを感じた出来事でした。

方言には、地域性だけではなく、その時代に地域に生きた人の思いが込められているのだと感じました。高齢のおばあさんが、ずっと使っていた大分弁を忘れていなかったのも、方言は、単なる話し言葉というだけではないからでしょう。おばあさんには、大分弁の中に、大切な人の面影や懐かしい思い出が見えていたのだと思います。

テレビを見ると、聞こえてくるのは共通語とお笑い芸人の関西弁ばかりです。東北や九州などの言葉は、最近では地域

を取り上げた番組で聞くこともありすが、メジャーな言葉であるとは言えません。地方出身者は、方言を隠す傾向にあるように思います。方言を話すことに恥ずかしさを感じているのかもしれない。わたしは、名物おばやはじめ、都会の人とも会津弁でコミュニケーションをとることが当たり前の環境で育ってきました。全国どこでも誰にでも通じる共通語の力を強さを理解しています。だからこそ、地方の人間の思いが込められた方言を風化させてはいけないと思います。

ここにも書かれている(題名にも使われている)「使うちみようえ」というのは、「使ってみようよ」という意味で、大分では、主に女性が使います。男性の場合は「使うちみようや」と語尾が変わります。会津弁では「使ってみつせ。」に近いです。

大分弁で「雨が降りよ」と「雨が降つちよる」では意味が違います。「雨が降りよる」は、今、雨が降っているときに、「雨が降つちよる」は、雨上りの地面を見て雨が降つたことに気づいたときに使います。前者は現在、後者は過去を表します。語尾の言い回しひとつで、男や女、過去や現在が表現できて興味深いです。

施設やおいしそうな店を見つけて、効率よく回れるルートを考えてくれます。無計画で出発したのに、あつという間に計画を立ててしまう父はすごいと思います。そんな父は、

「昼食をどうする？何が食べたい？」  
とよく聞きます。その時、僕は、  
「とりあえず、何でもいい。」  
と答えてしまうことがあります。する

また、大分弁といえば「しんけんよだきい」という言葉があります。とてもめんどうくさいという意味です。大分の方がよく使う言葉です。特に「よだきい」は「よだきイズム」などと言われ、県民性を表す言葉なのだそう。めんどうくさいといえば、マイナスイメージですが、大分の方は「よだきいなあ」と言いながらもせつと体を動かすのだそうです。南会津には「さすけねえ」ということばがあります。皆さんもよく耳にする言葉だと思いません。のんびりしている南会津を象徴している言葉です。この言葉を聞くと、焦る反面、ほつとすることもあります。一人で行き詰つても、助けてくれる人や見守つてくれる人がいることを感じます。この方言は南会津の人々が長い間培ってきた「結」の心とも関わりがあるように思います。

方言には方言でしか表せない状況や感情があります。その地域の人々が受け継いできた大切な心が伝えられています。わたしの話を聞いて、少しでも共感してもらえたら嬉しいです。  
使うちみようえお国言葉。  
あなたの郷土の言葉を使ってみませんか。

と、父は、  
「何でも良かったら、野菜しかないところへ行こう。」  
と言います。僕が野菜を苦手なことを知つて、わざと言っているのです。

最初は、僕のことをからかっていた、困るのを楽しんでいるのだと思っていました。でも、最近、僕の「何でもいい」という答えが、父は気になるのだと思うよ



## 噂

下郷中2年  
佐藤 愛音

「えっ。うそ。」  
私は驚きのあまり声をあげました。私の好きなアニメがネット上で「続編決定」とされていて、とても楽しみにしていました。完成して放映される日を長く待っていました。ところが、それは、ただの噂だったことを知ったのです。  
このように情報は人の心を大きく動かすことができます。「噂」も情報の一つです。みなさんいろいろな噂を耳にすることがあると思います。芸能人の噂や友人の噂などたくさん噂が世界中に流れています。それは、物事を大きく変化させたり、人を喜ばせたりすることができます。しかし、時にはその噂が人を傷つけ、苦しめることもあります。今、福島県で問題となっている風評被害もその一つです。  
みなさんは「風評被害」というものを知っていますか。それは、人の噂が世の中に広がり、本当は何もないのに、被害が生じることです。東日本大震災では、「一部の地域の野菜や原乳、魚などから放射性物質が検出された」と報道されました。そうすると、出荷が制限されない食

品の取引まで滞る現象が起きました。風評による消費者の買い控えの影響だと思われま。福島で生産された、作物を食べても何の問題もないのに、みんなが噂を信じ込み、農産物の売り上げがとも低下してしまいました。福島県では、米の全袋検査をし、安全であることを袋に表示したにも関わらず、売り上げは伸びませんでした。たくさんの方々が一生懸命に育てた作物を、ただの噂で「食べてはいけない」とされ、買うのをやめた人が多くいました。私はひどく、悲しいことだと感じました。噂だけで、「福島の農産物は食べたくない」などと言わないでほしいと思いました。

噂は、人から人に伝わっていくにつれて、内容も変化して、最後には、最初の内容から引き離された、とんでもないものになってしまう可能性があります。風評被害の問題も、とんでも大変なものになり、「福島の農産物は食べてはいけない」ということになっていきました。ニュースでも風評被害の状況がよく放送されるようになりました。

福島の状況を払拭するために立ち上がってくれた団体も出てきました。「福島県に旅行しよう」「福島の野菜を食べて、農家・農業を応援しよう」とキャンペーンが行われ、芸能人や著名人が活動を支援してくれました。まだまだ、震災以前には戻りませんが、情報を正しく受け止めてくれる人がいる、ということは心強いものです。  
では、私たちは噂や情報にどう対応すべきでしょうか。自分や自分の友人の噂を聞いたかどうか、自分自身か、私は、噂を聞いたなら無視するのが一番だと思います。「無視」という言葉は嫌なイメージがありますが、ここでは、あまり深く気にせず、冷静に判断する時間を持ち、しばらく様子を見てみるということ。静観するということです。その噂を真に受けてしまえば、自分の噂が気になってしまふ、行動が制限されてしまふ、どうしようもないくらい辛くなります。また、聞いたものが自分の大事な友人の噂だった場合でも、その友人を信用できなくなり、その人のいいところまでもが、嘘のように



## 僕のお父さん

下郷中1年  
白石 滯莉

うになりました。聞かれたことに、あいまに答えることは相手に失礼になります。また、自分の意見をはっきり伝えることの大切さを教えたのだと思います。僕は自分から「何でもいいよ」と答えていても「何でもはよくない」という気持ちがあることに気づきました。このことに気づかせてくれる父もすごいと思います。そんな父の仕事は、車の内装を設計することです。  
「仕事で楽しいところはどこ？」と聞くと、  
「3DCADというパソコンのソフトを使い、頭の中のイメージを3Dの形状に

再現すること。そして、それが製品として車になり、多くの人の手に渡ること。試作品を普通の人よりも早く見ることができると。そして、完成した車が、世界中の店に並んだ時はものすごい達成感を感じる。」と答えてくれました。  
「難しいことは何？」  
と聞くと、  
「0.1mmというすき間を埋めること。外国の人たちとコミュニケーションをとること。そして、仕事をしているチームをまとめること。」  
父は、学生のころ、「学校を卒業した

ら、英語なんて二度と使わないだろう。」と思っていたそうです。だから、英語が苦手だったことを気にしなかったそうです。就職して、海外出張が決まったときに必死で勉強したそうです。しかし、習得しなければならぬのは、英語だけではなくありませんでした。会社には様々な国の人が働いています。また、取引をする相手も世界中にある会社です。そのため、中国語、タイ語、スペイン語、フランス語、ドイツ語などといった言葉を理解しなければいけない場面があることが分かり、とても大変だったそうです。でも最近では、英語も少し習得し、外国への

出張が楽しめるようになったそうです。パソコンを活かして、特別な技術を学びたいという理由で、現在の仕事に就いたのですが、車から作る仕事は、チームの力がとても大切なのだそうです。チームリーダーとしてみんなの意見をまとめたり、他のチームとの話し合いをしたりと、パソコンの技術以上に、コミュニケーションをする力が求められます。  
父が家にいないことで困ったり、寂しく思ったりすることもあります。それは、父も同じなのだと思えます。でも、父が仕事を頑張っていることを思い、僕も勉強や部活に頑張りたいと思います。

## 躰と虐待の差について考えたこと

下郷中2年  
星 恵摩



躰という字は、身が美しいと書きます。多くの漢字は中国から入ってきたが、この字は国字といって、日本人が作った漢字です。

辞書で調べると、「礼儀作法を身につけさせること。また、身につけた礼儀作法のこと。」と書いてあります。虐待については「むごく取り扱うこと。残酷な待遇のこと。」と出ています。

では、躰と虐待にはどんな違いがあるのでしょうか。

躰というのは将来社会にでたときに相手に敬意を表す礼儀として、親が子に教え、子が身につけるもの。虐待は、子の体にあざやケガなどの傷をつけるもの。どうしてわが子の体につけたりしてしまうのでしょうか。傷をつけさせてやりたいと思っているのでしょうか。自分の子供が言うことをきかずにイライラしたときにしてしまうのでしょうか。

私が躰という言葉で思いついたのは、人としてのあいさつや言葉づかいでした。私の母は躰についてこういいます。

「生きていくうえでの行儀や習慣が躰。周囲に迷惑をかけたり、善悪の判断ができなかつたらたいへんですよ。だから、お母さんはそれを教えるんだよ。」

三・二、この数字は、みなさんにとって忘れられない記憶として残っていると思います。あの日、東日本大震災が起きました。私はその時、ここ下郷町で地震を感じました。震源から遠く離れた下郷でも断水、食料提供・ガソリン供給の制限など様々な被害がありました。また、私の従姉妹は、中通りから避難をし、一ヶ月ほど私の家で生活をしていました。福島県外でも、計画停電などが実施されるなど、大きな被害を残しました。

さらに、虐待については、

「何回か教えているうちに、知らず知らず手をあげてしまい、それが日常になって傷つけていることが分からなくなってしまうんだらうね。泣いても血を流してもそれが躰だと思いついてしまっているのかな。」

この話を聞いて、私は、躰と虐待との区別はどのようにしたらいいのだろうかと思いました。

もう一度繰り返し返しますが、躰は人として大切なことを、親が子に教えることです。教える方法は家庭や状況によって違うと思います。

例えば、子どもがもし友達を二回はたいてしまったとします。まず、理由を聞き、優しく諭すことが必要です。でも、友達をはたか行為を何回も何回も繰り返していたら、どのように教えますか。わが子のところを二回はたいて痛い思いをさせて躰をする人もいるのではないかと思います。

私は、これと似た事件が最近あったなと思いました。それは、ニュースでよく報道されていた、少年を山に置き去りにしたという事件です。この事件は少年が家族で公園に遊びに行ったときに、少年が人や物に対して石を投げていた。それ

を見た少年の父は、家に帰る途中に躰として、少年を山に置き去りにしていったという内容です。

私は、少年の家庭の様子や、少年のそれまでの行動がどのようなものであったかは、わかりません。両親は何度も何度もわが子に諭して聞かせたのかもしれない。少年が全く言うことを聞かなかつたのかもしれない。このままでは少年が社会で生きていく礼儀を身につけることができず大人になつていく、と焦っていたのかもかもしれません。この両親に対しては、テレビの番組やネット上で様々な意見があげられました。「虐待だ」という批判的な意見が多くあるなかに「事情があつたのかも」「親としてつい強く叱ってしまうことがある、気持ちがある」という意見もありました。

ことわざに「親の心、子知らず」というのがありますが、少年が成長した時、この出来事をどのように受け止めるのか気になります。少年の心の傷として残つてしまえば虐待となるのかもしれない。もし、残つていなくなつたら躰になるのかもしれない。このように、躰と虐待の差というのは難しいのです。

これを機会に親子の関係を考え直し

ことにより、とつさに身構えてしまいました。警告音が鳴った後、私が揺れを感じたことはありませんでした。私の家からは離れた所での地震だったからです。警告音がなつたということはそれ相応の地震があつたはず。私は、居間に行き、テレビを見ていた祖父に聞きました。

「どこで地震があつたの。」

祖父は、地震情報を眺めながら、

「熊本だつて。大変だな。」

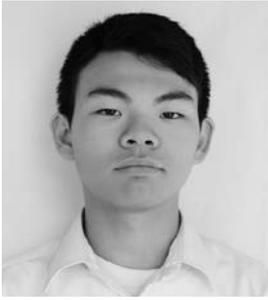
と言っていました。私はこの時、心の

で、子どもも親も明るく過ごせるハッピージャパンに。そして、世界中の親と子が楽しく過ごせるハッピーワールドになりますように。

中で、

「近くじゃなくてよかった。今回は被害もなさそうだ。」と思いました。

ところが、次の日、ニュースを見ると悲惨な状況が目に見え込んできました。そして、それと同時に、東日本大震災のときにニュースで流れていたおぞましい光景がよみがえりました。あのとき、私たちも少なからず、被害を受け、心に大きな傷を負いました。それと同じように、今年の四月十四日、熊本だけでなく、九



## 生きていた証を残す

下郷中3年  
児山 楓芽

自分が生きていた証。これを、意図して残すことは極めて困難なことだと思えます。なぜなら、自分が意図して行った行為でも他者にとっては、何のこともない至って普通のことと思われてしまうかもしれないからです。

しかし、この世界に存在している限り、生きていた証を残すために、努力をすることはできます。努力をしてきた結果と

今回の地震を受け、私は改めて感じたことが一つあります。それは、この瞬間を、一分一秒を、一日一日を生きていることが本当に幸せなのだという事です。幸せの感じ方に大きい小さいはあるかもしれませんが、人それぞれに幸せを感じる瞬間があると思います。テレビを見ているとき。ご飯を食べているとき。寝ているとき。友達と話しているとき。汗をかいたとき。悩んだとき。泣いたとき。笑ったとき。他にも多くの幸せがこの世界には溢れていると思います。

さらに、もつともつと大きく考えていくと、この瞬間を生きている。これが既

して、生きていた証につながっていくのです。さらに、生きていた証を残すための努力をし続けられ、そこには思いがけない評価が生じる事があるのです。その評価こそが、後世に語り継がれ、生きていた証となるのです。

これから、二人の人物の生きていた証を紹介いたします。まず一人目は、ドイツ人の気象学者「ウエゲナー」です。彼は1912年に「大陸と海岸の起源」という著書の中で「大陸移動説」を提唱した人物です。彼は、化石や気候を根拠にしてこの説を発表しましたが、当時の地質学者たちからは、「大陸移動説」は偶然の産物として無視されてきました。その後、彼は調査を続けましたが、研究は評価されることなく、1930年、調査中に遭難し、この世を去りました。それと同時に、「大陸移動説」は、正当な評価を受けずに、この世から忘れ去られたのです。

しかし、ウエゲナーがこの世を去ってから、プレート理論という地球の大陸が元々は一つの大陸だったとする理論が発表され

ました。これを機に、ウエゲナーの「大陸移動説」は、復活しました。

続いて二人目は、下郷町の名誉町民である田沼文蔵という人物です。彼は、大正時代に下郷町に生まれました。戦後、食糧難を抱えていた日本で、これからは食糧難を抱えていたため、食料提供に尽力しました。その後「グリーンハウス」という会社を立ち上げ、給食やレストランなどの分野で大きく社会に貢献しました。その功績が認められ、下郷町では、田沼文蔵を名誉町民として認定し、功績を称えています。

このように、生きていた証にやっか



## 四・一四

下郷中3年  
五十嵐 瑠奈

州地方の人々が心に大きな傷を負ったのです。私は、地震発生直後、自分が思ったことを後悔しました。

地震発生からまもなくして、ここ下郷町では、義援金活動が始まりました。「一日でも早く今までのような生活を送ってほしい。」

「がんばれ、熊本。」

「地震に負けるな。」

数々の思いを胸に、多くの方が義援金に協力してくれました。自分たちが苦しんでいる、辛い思いをした分、被災者のために少しでも力になりたいという気持ちの表れだと思えます。

今回の地震を受け、私は改めて感じたことが一つあります。それは、この瞬間を、一分一秒を、一日一日を生きていることが本当に幸せなのだという事です。幸せの感じ方に大きい小さいはあるかもしれませんが、人それぞれに幸せを感じる瞬間があると思います。テレビを見ているとき。ご飯を食べているとき。寝ているとき。友達と話しているとき。汗をかいたとき。悩んだとき。泣いたとき。笑ったとき。他にも多くの幸せがこの世界には溢れていると思います。

さらに、もつともつと大きく考えていくと、この瞬間を生きている。これが既

くさんあると思います。小さなことから努力を始めましょう。あいさつ、整理整頓、掃除、学習、部活動など。他にも日々の生活の中で、努力できることはたくさんあると思います。これらの積み重ねにより、自分にとっては当たり前のことでも他者から思いがけない評価を受けることがあるかもしれません。これが生きていた証へと必ずつながっていくと思います。

みなさん、証を残しませんか。

に幸せと呼べるのではないのでしょうか。何か特別なことをするわけでもなく、「この瞬間を生きている」これを幸せと感じることができました。

私は今、この瞬間を楽しく幸せに生きています。

みなさんは、毎日、この一瞬を幸せに生きていますか。

## 青少年健全育成作品コンクール入賞者

### 標語の部 小学生の部【5年生】

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞 1点	佐藤 華帆	その笑顔 地域の心が あたたまる	旭田
優 秀 賞 2点	星 朱乃	あたたかな やさしさあれば 笑顔満開	旭田
	芳賀 美咲	友だちを 大切にしよう たからもの	江川
佳 作 5点	阿久津 陽菜	いじめをね きみのゆうぎで 止めようよ	榎原
	星 賢人	ボランティア 心もスッキリ ゴミ拾い	榎原
	玉川 百合花	気をつけて ひそかにひそむ ひきょうないじめ	榎原
	星 小乃果	あいさつは 仲良くなれる おまじない	榎原
	鈴木 胡子	考えよう いじめを減らす 方法を	江川

### ポスターの部 小学生の部【6年生】

賞	氏名	内容	学校
最優秀賞 1点	白川 順姫	あいさつでひろがる みんなの輪	榎原
優 秀 賞 2点	星 千明希	いいことだけじゃ ないですよ?	旭田
	小山 紘	大丈夫 僕たちみんなが 仲間だよ	江川
佳 作 5点	阿久津 弘人	考えよう お金の使い方	榎原
	室井 凜	1度やったら やめられない 薬物	旭田
	弓田 綾乃	万引きは 犯罪です	旭田
	渡部 愁羽	姿が見えなければ いいの?	旭田
	星 奈緒	困った時は、みんなに相談 きっと助けてくれるよ	江川

### 標語の部 中学生の部

賞	氏名	内容	学年
最優秀賞 1点	佐藤 優希奈	伝え合おう 感謝の言葉 家族でも	2
優 秀 賞 2点	五十嵐 彩夏	感じよう 君の周りの SOS	2
	室井 遥花	「ごめんね」が 素直に言えたら 仲直り	1
佳 作 4点	湯田 愛里	ごめんねと 言えるあなたは ヒーローだ	2
	佐々木 蓮	あいさつで 未来へつなごう 笑顔のバトン	2
	星 美咲	晴れにしよう 心の天気 あいさつで	2
	浅沼 柚希	スマホある 家族のルール きめていこう	1

### ポスターの部 中学生の部

賞	氏名	内容	学年
最優秀賞 1点	渡部 修登	元気にあいさつ	2
優 秀 賞 2点	星 彩里菜	NO DRUG 始めたら 戻れない	3
	稲本 椰子	そのゴミは 自然を壊す 第一歩	3
佳 作 4点	佐藤 妃夏	支え合い 助 け合う	3
	川島 詠実	ポイ捨ては 破壊する	2
	渡部 愛佳	良心の声を 聞け!	2
	佐藤 愛音	誘惑に負けないで	2

